

改 善 状 況 報 告 書

(法人名・施設名・事業所名) 社会福祉法人ときわ会 共同ホームはやぶさ

改善を要する事項	改善状況(又は方策)	改善の時期(期限)
①第三者委員会を立ち上げ検証を行うこと	<p>①実施状況</p> <p>第三者委員会メンバー:弁護士久保田聡氏、あけぼの福祉会常務理事安川雄二氏、ときわ会監事宍戸芳子氏</p> <p>第1回 2022年7月8日 第2回 2022年7月20日</p>	
②当該職員への継続的な面談と指導	<p>②虐待防止委員会が当該職員と面談をし、問題点とその背景を確認し、他の対応の可能性について見つめ直す場にしていく。</p> <p>実施状況</p> <p>(当該職員と虐待防止委員2名)</p> <p>第1回 7月28日 第2回 9月28日 第3回 11月22日 第4回 3月17日</p> <p>4回目の面談で配属先の主任も同席し、この間の当該職員の様子を客観的に判断してもらう。当該職員が自身の誤った行動を認め、自身の支援を振り返ることができるようになったことを踏まえ、面談は終了となる。しかし、今後も必要に応じて面談の機会は持つようにする。また、当該職員には強度行動障害に関する事例検討(6か月)研修を受講してもらった。</p>	②2022年7月より開始する。状況を見て終了の判断をする。
②共同ホームはやぶさに入居されているご家族、関係者に対し、経過説明と虐待防止員会の対応について説明を行う。	<p>②実施状況</p> <p>2022年8月8日、はやぶさ入居者5名のご家族、後見人1名、虐待防止委員会3名、管理者1名、サービス管理責任者1名、理事1名が参加し、虐待事案についての説明会を行った。</p> <p>虐待防止委員会から、経過とその時点までの対応について説明をし、あわせて当該職員と面</p>	②2022年8月8日

<p>③アドバイザーを含めてのケース検討を行う</p>	<p>談をした際の様子も伝えた。また、当該職員が虐待に至ってしまった原因の分析とその背景についても説明をした。今後の対応については、当該職員との面談を持つこと、研修を行うこと、第三者委員会が立ち上がりその報告に基づいて検討すること、を伝えた。また、管理者からは共同ホームはやぶさでの職員集団、職員体制からみた問題点について話をした。ご家族と後見人の方から、ご意見、ご感想を頂いた。今後の運営、支援内容について生かすべく、貴重な機会となった。</p> <p>③外部講師をいれてのケース検討会を行い、支援内容について見つけ直す場をつくる、実践問題の追求を行う。また、全職員の階層別研修を行う。</p> <p>実施状況</p> <p>2022年12月14日に今回の事案について、はやぶさの職員ひとりひとりにレポートを書いてもらう形で、他ホーム職員とともにケース検討会を行った。しかしながら、このあとの継続的なケース検討、外部講師を入れてのケース検討が実施できてない。早急に計画を立て実施していく。</p> <p>管理者層(社会福祉法人多摩福祉会 垣内国光氏講演)中堅職員層(きょうされん常務理事大野氏、社会福祉法人さくらんぼの会藤内氏を講師としてのグループワーク)に対し、研修を行った。新人研修(入職時の内部研修)において、虐待防止・身体拘束に関する研修を行った。</p>	<p>③当初は2022年8月に予定していたが、コロナ感染が拡大したため12月に延期。</p> <p>外部講師を入れてのケース検討は2023年度末までに実施する。</p> <p>管理者層研修 2022年11月15日</p> <p>中間職員研修 2023年3月18日</p> <p>新人研修 2023年5月10日</p>
-----------------------------	--	--

小平市への業務改善計画は2022年7月8日に提出しています。実際提出したものを、個人情報に配慮し修正し、また、それ以降実施したことを追記して掲載しています。